

## （仮称）菅生スマートインターチェンジ連結（設置）の新規事業化について

本事業は、東北縦貫自動車道「村田インターチェンジ」と「仙台南インターチェンジ」約15km間のほぼ中間に設置されている「菅生パーキングエリア」に連結（設置）されるスマートインターチェンジであり、観光資源へのアクセス向上や村田町中心部の渋滞緩和、救急搬送時間短縮などの事業効果が期待でき、地域の利便性や活性化に大きく寄与するものであります。

国が調査を実施する「準備段階調査」に選定された昨年5月以降、調査・検討を進めるため「準備会」を立上げ、地元、村田町とともに検討を重ね、今年7日には「地区協議会」を開催し、事業化に必要な実施計画書を国交省へ提出していたものであります。

この度、国土交通省より新規事業化の箇所選定を受けたもので、今後、東北縦貫自動車道への連結許可を得て、正式に事業着手となるものです。

### 【事業概要】

- ・事業主体：宮城県
- ・連結位置：柴田郡村田町菅生
- ・連結形式：PA接続型（菅生パーキングエリア上下線へ接続）
- ・運用形態：24時間
- ・対象車種：ETC車載器を搭載した全車種（ただし車長12m以内）
- ・全体事業費：約30億円（県6億円、NEXCO東日本ほか24億円）
- ・事業期間：平成29年度～平成34年度



出典：国土地理院



平成29年7月21日  
道路局 高速道路課

## スマートインターチェンジの新規事業化、準備段階調査の箇所を決定 ～高速道路の有効利用や地域経済の活性化に向けて～

国土交通省は、産業振興や物流の効率化等の効果が期待されるスマートインターチェンジについて、本日付で9箇所を新規事業化しました。また、新たに9箇所を準備段階調査を実施します。

### ○スマートインターチェンジの整備により期待される効果

- ・周辺の産業拠点から高速道路へのアクセス向上による、産業振興・物流の効率化 等
- ・隣接するインターチェンジや一般道路へ集中する交通の分散による、周辺道路の交通状況の改善 等

### ○準備段階調査について

スマートインターチェンジの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、国が調査を実施する「準備段階調査」を実施します。

これにより、スマートインターチェンジの地方での計画的かつ効率的な準備・検討の推進が図られることが期待されます。

- 別添①: スマートインターチェンジ新規事業化箇所一覧表
- 別添②: スマートインターチェンジ新規事業化箇所図
- 別添③: スマートインターチェンジ準備段階調査箇所一覧表
- 別添④: スマートインターチェンジ準備段階調査箇所図
- 別添⑤: スマートインターチェンジの検討・整備について
- 別添⑥: スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

### [お問い合わせ先]

国土交通省 道路局 高速道路課 柴田・金清

[代表] TEL 03-5253-8111 (内線38362、38353)

[直通] TEL 03-5253-8500、FAX 03-5253-1619

## スマートインターチェンジ※<sup>1</sup>新規事業化箇所 一覧表

別添①

(単位:百万円)

スマートインターチェンジの名称(仮称)※ <sup>2</sup>	連結位置	路線名	H29事業費※ <sup>3</sup>	接続形式
すごう 菅生	宮城県柴田郡村田町	東北縦貫自動車道弘前線(村田IC～仙台南IC間)	6	SA・PA接続型
つくば	茨城県つくば市	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(常総IC～つくば中央IC間)	6	本線直結型
いずるはら 出流原PA	栃木県佐野市	北関東自動車道(佐野田沼IC～足利IC間)	6	SA・PA接続型
かんら 甘楽PA	群馬県甘楽郡甘楽町	関越自動車道上越線(吉井IC～富岡IC間)	6	SA・PA接続型
かりや 刈谷	愛知県刈谷市	第二東海自動車道横浜名古屋線(豊田南IC～豊明IC間)	6	SA・PA接続型
みさか 神坂	岐阜県中津川市	中央自動車道西宮線(園原IC～中津川IC間)	6	SA・PA接続型
じょうよう 城陽	京都府城陽市	近畿自動車道名古屋神戸線(宇治田原IC(仮称)～城陽IC間)	6	本線直結型
かも 加茂BS	島根県雲南市	中国横断自動車道尾道松江線(三刀屋木次IC～宍道IC間)	6	本線直結型
さかいできた 坂出北	香川県坂出市	一般国道30号(本州四国連絡道路)(児島IC～坂出IC間)	6	本線直結型

※<sup>1</sup> スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※<sup>2</sup> スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※<sup>3</sup> 事業費は高速道路機構への補助対象分であり、地方が整備する高速道路の区域から既設の一般道路までの道路などは含みません。